

施策名 事務事業名	委員会	提言で の方向 性	施策主管 課・事務 事業担当 課	事務事業での 対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業 計画と予算内容について記載)	H27 当初予算 (単位:千円)	H28 当初予算 (単位:千円)	予算科目 款・項・目・細 目・細々目	一般会計 予算書 掲載頁
				事業 規模	予算					
支え、育む産業 基盤づくり	産建		産業振 興課	-	-	<p>方向性と評価は概ね正しいが、次の事項を課題と考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所数や飯田市地方卸売市場の取扱数量が減っている。地場商業者の沈下が懸念される。 ・搬出間伐の面積が減少しており対応策が必要である。 ・施策1-1から1-3は相互に関連しあっており、事務事業レベルの整合性を明確にするとともに、地方創生の視点からあらためて見直し、改善が必要である。 <p>(提言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光政策については、飯田市観光振興ビジョン推進のロードマップを関連団体とともに策定し、進行管理されたい。 ・事業所数や飯田市地方卸売市場の取扱数量が減少しており、地場商業の衰退が懸念されるので、早急な対策を打ち出されたい。 	-	-	-	-
雇用対策事業	産建	や り 改 善 方	産業振 興課	見 直 し ・ 改 善	現 状 維 持	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉課でも専門的就労支援員が配置されるなど、相談者に応じた体制が整いつつあることを踏まえて対応していきます。 ・職業適性検査、県のジョブカフェと連携しての相談会や就職支援セミナー等雇用のミスマッチ対策につながる支援を実施していきます。 ・ジョブカフェいいたの相談者のほとんどは20代、30代の若者ですが、年齢を問わず同様に対応しております。 ・ハローワーク飯田や飯田職業安定協会等関係団体と連携し、高校生の地元企業訪問、高校での地元企業の説明会、地域産業のガイドブックを配布するなど高校生に対する取組をしていきます。 	1,605 前倒し (1,000)	1,660	5-1-1- 10-4	220

施策名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27 当初予算 (単位:千円)	H28 当初予算 (単位:千円)	予算科目 款-項-目-細目-細々目	一般会計 予算書 掲載頁
					事業規模	予算					
耕作放棄地解消事業	産建	やり方改善	農業課	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄未然防止策、耕作地の統合拡大、栽培作物の検討、担い手に農業法人、企業参入を考慮するなど、「耕作放棄地解消」を主目的とした政策の下に事業体系を再構築されたい。 前年度に実施された耕作放棄地現地調査の結果を有効活用されたい。 地域の課題として取り組む必要が有ることから、まちづくり委員会と情報共有するなど協力しながら進められたい。 	見直し・改善	縮小	<ul style="list-style-type: none"> 農家の高齢化等に伴って発生する耕作放棄地の解消は、新規就農者や担い手の確保、意欲ある農業者の育成、農業生産法人の育成や企業による農業参入、野生鳥獣被害対策、さらに収益性の高い強い農業づくりなど総合的な農業振興施策と関連する課題です。したがって、「耕作放棄地解消」を主目的とした政策の下に事業体系を再構築することは、現実的でないものと考えます。しかしながら、農業分野における非常に重要な課題であり、地域耕作放棄地対策協議会として承認されている飯田市農業振興センターを中心に関係する事務事業との調整を図りながら、施策全体を関連付けて取り組みます。 現在、26年度の現地調査結果に基づき、条件の良い集団利用できそうな耕作放棄地について、耕作できない理由(鳥獣被害、水利)、所有者の意向確認を行っています。今後、農地中間管理機構等の制度を活用して新たな耕作者とのマッチングを進めます。 地域においても重要な課題であることから、地区農業振興会議のほか、耕作放棄地の現状や取組状況等まちづくり委員会との情報共有を図り連携して取り組みます。 	1,488 前倒し (1,300)	1,348	6-1-3-30-1	228
産業用地整備事業	産建	現状維持	工業課	<ul style="list-style-type: none"> 地方創生の視点から、スピード感を持った用地整備に取り組まれたい。 	現状維持	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> 地方創生の視点から、本社機能の移転や研究開発型企業の誘致活動に伴う支援制度の活用等も含めて、三遠南信自動車道(仮称)龍江IC周辺において、丘陵地を活かし地域環境と共生する新たな産業団地の整備に取り組みます。 	50,200	45,988	7-1-5-12-3	266
中小企業経営安定支援事業	産建	やり方改善	金融政策課	<ul style="list-style-type: none"> 産業政策に欠かせない基礎データを得る場として、企業訪問活動を積極的に行い、中小企業の現状、課題に対する情報収集機能を強化されたい。 補助制度等の相談日については、毎月2回は取り組まれたい。 	見直し・改善	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> 飯田市は、平成27年6月に飯田商工会議所が国の経営発達支援事業として認定を受けた「伴走型小規模事業者支援推進事業」の共同実施主体になりました。同所が地区担当経営指導員を中小企業に訪問させる際に、市職員も随行して情報収集を行います。 相談窓口は常設していますが、各制度をさらにPRして需要を高め、相談回数を増やします。 	400	400	7-1-3-10-4	252

施策名 事務事業名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27 当初予算 (単位:千円)	H28 当初予算 (単位:千円)	予算科目 款-目-細目-細々目	一般会計 予算書 掲載頁
					事業規模	予算					
未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化	産建		産業振興課	<p>施策全体として「ある程度進んだ」との評価だが、もう少し厳しいのではないが、本施策は極めて重要なテーマを含んでおり、更なる効果を発揮させるため事務事業の個々の取組の中で、見直し改善の余地がある。 (提言) ・地域ブランド化の推進を最も重要な産業政策の一つと位置づけ、複数の施策の中で総合的に展開されたい。例えば食文化として「焼肉」を推奨するとすれば、店舗数の多さだけでなく、味とサービス、地場産の肉にこだわるなど焼肉を地域文化にまで高めるような仕掛けをされたい。 ・学輪IIDAの知見と地場産業のコラボを進められたい。 ・この地域の資源として技能労働者の育成に取り組まれたい。</p>			<p>・全体としては「ある程度進んだ」と評価したが、個々の課題については見直し改善を進めます。 ・地域ブランドの構築は市全体の重要な政策であるとともに産業政策としても重要であり、関連事務事業を連動して取り組みます。 ・学輪IIDAについては、地域課題の解決や地域資源の活用方策等について、機会を捉えながら大学との連携を進めていきます。 ・技能労働者の育成は、技能の習得や研修を行う場の確保が大切であり、教育機関や関係団体と連携しながら今後、具体的な事業を検討する中で進めていきます。 ・そのひとつとして、住宅産業においてその実現を図ることが必要と考えています。意欲ある工務店・設計士・大工などによる研究会を立ち上げ、当地域の気候風土に適應した住宅の仕様等の研究開発を行うとともに、そのモデル仕様に基づき、地域産材を活用した住宅が建築できる環境づくりを進めていきます。実施に当たっては、関係機関と協働して行う予定です。</p>	-	-	-	-
技能技術伝承事業 (旧技能褒賞運営事業)	産建	拡大	産業振興課	<p>・「技能技術伝承事業」となっているが、実態は「褒賞」が中心となっている。当地域で育まれている技能に関する現状分析を行い、技能褒賞から技能労働者の育成事業にシフトされたい。</p>	見直し・改善	現状維持	<p>・褒賞事業は、技能労働者の地位及び技能水準の向上を図るとともに、若い方々が誇りと希望を持って技能労働者となる気運を高めることを目的としており大切な事業です。 ・教育機関や関係団体と情報交換や現状分析等を実施する中で、技能労働者の確保、育成についてどのような支援が考えられるか検討していきます。 ・平成27年度は、阿南高校で技能労働者の職業紹介を実施しましたが、今後も高校生に対する技能労働者の魅力が伝わるような機会を設けていきます。</p>	2,945	2,900	5-1-1-10-1	218

施策名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27 当初予算 (単位:千円)	H28 当初予算 (単位:千円)	予算科目 款-項-目-細目-細々目	一般会計 予算書 掲載頁
					事業規模	予算					
農業振興センター事業	産建	やり方改善	農業課	<ul style="list-style-type: none"> 補助金交付事業が大半を占めている。一つひとつの補助事業の事業評価を行われない。 耕作放棄地対策は、農業振興センターにおいて市全体を見据えた包括的な取組みをされたい。 農業者全体の育成支援とともに、特に認定農業者を増やすための育成支援に積極的に取り組まれたい。 	現状維持	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> 農業振興センターの各種補助金は、国・県の制度では対応しづらい部分を補う趣旨の制度ですが、関係機関と相談し必要な見直しをしてきました。今後も事業効果等の評価を行い、必要な改善に努めます。 農業振興センターは、国の耕作放棄地再生事業の地域協議会を担っていることから、同センターを中心に関係する事務事業との調整を図りながら、市内16地区の農業振興会議と連携して耕作放棄地対策に取り組めます。 認定農業者は、将来を見据え計画的に農業経営を行っていく地域内における中心的な人材であるため、専業農家等へ認定農業者の制度を広く周知するとともに、経営の向上につながる講座開催等の支援体制を強化します。 	6,200	6,200	6-1-3-20-1	228
果樹・野菜等振興事業	産建	やり方改善	農業課	<ul style="list-style-type: none"> 補助対象の推奨品種が数年来固定されている。ブドウ等への拡大を含め見直しを検討されたい。 	現状維持	拡大	<ul style="list-style-type: none"> 補助対象品目については、各生産団体の果樹生産振興方針の基幹品種の中から、生産量の増加と省力化が特に期待できる新ワイ化苗木等を集中的に支援し、栽培拡大等を図っています。 補助対象品種に関しては、生産団体等と連携し、果樹販売動向や国施策等を見ながら、産地化に繋がるよう適宜見直しを行っていきます。また、TPP対策として強化された支援策の活用検討を進め振興を図っていきます。 	9,615	11,865	6-1-4-18-1	230
飯田の木で家を建てるプロジェクト事業	産建	やり方改善	林務課	<ul style="list-style-type: none"> 今までにこの事業を活用した工務店や建築主に対してアンケート調査を実施するとともに、その結果に基づき需要が拡大するための工夫・改善をされたい。 工夫・改善に当たっては次の点も参考にされたい。 <ul style="list-style-type: none"> 一定面積(例えば150㎡)以上の建物の場合には、飯田産材の使用を率ではなく、一定量以上を補助対象とする。 補助対象となった建築に「認定証」及び「認定プレート」を贈呈し、掲示の協力を依頼し、周知、啓発をはかる。 補助率を引き上げ、より建築主にメリットがある事業とする。 	見直し・改善	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> これまでの補助対象者に対して、ヒヤリング調査を実施しているところであり、木材流通等の課題を明らかにすることで、木材の安定供給体制の整備につなげていく予定です。認証プレート等の必要性についても、ヒヤリング調査に基づき判断していきます。 補助金の要件においては、使用割合のほか、総使用量や床面積1平方メートル当たりの使用量を段階的に設け、飯田市産材の材積にも配慮していきます。 	3,496	3,410	6-2-2-2606	246

施策名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27 当初予算 (単位:千円)	H28 当初予算 (単位:千円)	予算科目 款-項-目-細目-細々目	一般会計 予算書 掲載頁
					事業規模	予算					
観光誘客宣伝事業	産建	やり改善方	観光課	<ul style="list-style-type: none"> 観光内容、目的に沿ったプロモーションになっているか検証するとともに、さらなる民間委託による専門性の発揮を検討されたい。 飯田の特性を生かした新たな観光コンテンツを創造されたい。 SNSを利用した観光誘客コンテンツづくり、情報発信者の育成、交流の場づくりを進められたい。また、Wi-Fiステーションマップを作成し市のHPなどで確認できるようにされたい。 	拡大	縮小	<ul style="list-style-type: none"> 飯田観光協会、(株)南信州観光公社等との連携や業務委託等を進め、観光客の多様なニーズに対応した観光商品の開発やPR活動を実施しています。 リニアでつながる品川エリアを手始めとして、平成25年度より民間事業者等との情報交換や交流により双方向での関係性を深めながら、首都圏に向けた飯田の知名度向上に努めています。 飯田観光協会と南信州広域連合が共同運営する「南信州ナビ」により飯田市の観光情報を発信していますが、平成28年度のリニューアルを契機にツイッターやフェイスブック等SNSに対応したコンテンツの組み込みも行っていきます。 Wi-Fiステーションマップについては、市の施設にあるWi-Fiスポットは市のホームページで公表しています。また、その他のWi-Fiスポットは国内外共にスマートフォン等に対応したそれぞれの専用アプリで即時検索ができること、民間のWi-Fiスポットが増加中の状況にありますので、現在のところマップの作成は考えておりません。 	11,112 前倒し (4,504)	8,394	7-1-4-10-2	254
地場産業等振興事業	産建	現維持	工業課	<ul style="list-style-type: none"> 産業支援機関として、費用対事業効果の徹底検証を行われたい。 専門コーディネーター、アドバイザーの確保に努められたい。 	現状維持	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> 「知の拠点」への(公財)南信州・飯田産業センターの移転による機能拡充を視野に入れながら、産業センターの運営及び各種事業について、これまでの補助金や負担金による成果を検証、効果測定を行いながら取り組みます。 専門コーディネーターやアドバイザーの確保については、健康医療・食品分野で研究、開発から事業化までトータル的にサポートできる人材の確保に努めます。 	43,200	43,982	7-1-5-10-17	264

施策名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27 当初予算 (単位:千円)	H28 当初予算 (単位:千円)	予算科目 款・項・目・細目・細々目	一般会計 予算書 掲載頁
				事業規模	予算					
新しい力による新しい産業づくり	産建		産業振興課			<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた課題や提言については、今後の課題として改善をしていきます。 ・産業用地については、三遠南信自動車道龍江インター(仮称)周辺において、自然環境と共生する新たな産業団地の整備に取り組みます。 ・企業誘致については、南信州地域産業活性化基本計画に基づき3つの分野を中心に地方創生の視点から、本社機能の移転や研究開発型企業の誘致等も含め、引き続き誘致活動に取り組みます。また、団地整備までの間は、工場等の跡地や空き家のデータも活用し企業ニーズに合った誘致活動を行います。 ・起業家発掘事業(ビジネスプランコンペ)は、選考過程で応募者に専門家の助言をし、より良い事業計画に練り上げて実際の起業につなげることが目的であり、授賞者数は1つの目安です。平成27年度には大賞を1件、準大賞(特別賞・奨励賞)を各1件授賞しましたが、引き続き、優れた起業案件の創出支援をしていきます。 ・平成27年度は、「チャレンジ起業相談」への相談件数が昨年度に比べて倍増しています。さらに懇切丁寧な相談を行い、起業件数を増加させていきます。 ・(公財)南信州・飯田産業センターの移転拡充については、取組の成果を検証する中で課題を把握するとともに、産業界の意見等をしっかりお聞きし、課題の解決に必要な機能の拡充等、具体的な内容を検討します。 ・飯田型ツーリズムの推進については、(株)南信州観光公社が主力事業としている体験教育旅行の既存メニューの改善や新しいメニューの商品化を進めるとともに、誘致活動を九州地方エリアまで拡大して新規顧客の獲得に努めています。また、訪日体験教育旅行や大人向けの体験型ツアーなどにも取り組んで推進を図っています。 	-	-	-	-
農業法人誘致・設立促進事業	産建	拡大	農業課	見直し・改善	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化等により農業の担い手が減少する中、これまでの担い手誘致や新規就農者支援に加え新たな担い手の確保が求められています。各事業に共通するキーワードとして「地域農業の担い手の確保と育成」を目標に掲げ、本事業を「農業担い手誘致事業」に統合し推進します。 ・農業法人の設立については、個人農業者の法人化支援や(公財)南信州・飯田産業センター等との連携により、市内製造業等の他業種からの農業参入の意向確認を進めるとともに、農業振興センターに相談支援窓口を設置して対応します。 	0	0	6-1-3-15-1	226

施策名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27 当初予算 (単位:千円)	H28 当初予算 (単位:千円)	予算科目 款-項-目-細目-細々目	一般会計 予算書 掲載頁
					事業規模	予算					
農業新分野創出・6次化推進事業	産建	やり改善 方	農業課	・新しい取り組みであり、当面の間はハード、ソフト両面に対し市の積極支援を行われない。 ・人材育成のためのセミナー、参加者のアフターケアをしっかり行われない。 ・当事業の推進に当たっては、農業法人誘致や設立促進を図られない。	現状維持	縮小	・6次産業化総合化事業計画の認定事業者に対しては、引き続き、部内各課が連携して支援するとともに、今後、計画認定を目指している農業者に対しても関係機関が連携して支援していきます。 ・平成27年度より、次世代の農業経営を担う女性をターゲットとして、農家民泊等の地域資源を活用して新たなビジネスモデルを創出する講座「アグリビジネス起業塾」を立ち上げることによる起業希望農業者への支援を進めています。また、「あくり実践塾」では、新規や若手就農者に農業基礎の講習等を実施し、担い手の育成を推進していきます。	77,729	6,861	6-1-4-37-1	234
広域連携による観光誘客事業	産建	やり改善 方	観光課	・リニア・三遠南信時代を見据え、魅力あるエリアや周回ルートを明確にした事業転換を図られない。	拡大	現状維持	・三遠南信サミットを通じて連携している飯田市、浜松市、豊橋市の3市で新しく三遠南信観光連携会議を組織し、3圏域の周遊化を目指した連携事業について検討しています。今後も具体的な事業展開についての試行しながら継続して検討していきます。 ・三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会では、平成27年度に周遊化を目的とした広域ドライブマップを作成しましたが、平成28年度はさらに4圏域の新しい連携事業について検討を進めており、今後も継続していきます。 ・伊那路・木曽路広域観光連携会議では、飯田市の五平餅スタンプラリーを参考にして、平成27年度に伊那谷と木曽谷を食でつなげる新たな周遊観光を実施したところ、特に中京圏からの観光客に非常に好評を得ました。平成28年度は、スタンプラリーで寄せられた意見・要望を反映する中で、参加店舗や食種を増やすなど事業規模の拡大を図って実施します。	0	0	ゼロ予算	-
地域産品ブランド化事業	産建	やり改善 方	工業課	・新たなブランド品発掘のためのプロモーションの仕組みづくりを検討されたい。 ・飯田市産業親善大使が縦横無尽に活躍できるよう、市も積極的に取り組まれたい。	現状維持	現状維持	・地域ブランド力の向上については、地域資源を活用したブランド品の発掘をはじめ、異業種連携による事業化や国内外をターゲットにした販路開拓を目的としたプロモーション活動を支援します。 ・飯田市産業親善大使の持つ宣伝力とアイデアを活用しながら、地場産品の露出強化及び販路開拓につながるプロモーション活動に取り組みます。	3,036	3,036	7-1-5-10-23	266

施策名 事務事業名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27 当初予算 (単位:千円)	H28 当初予算 (単位:千円)	予算科目 款-項-目-細目-細々目	一般会計 予算書 掲載頁
				事業規模	予算					
交通機関と道路の充実	産建		土木課	-	-	<p>取組みに対して概ね評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路の維持管理は、財源の経年変化、国の考え方の変化を考慮するとともに、公共施設等総合管理計画の策定に併せて「短中長期の維持補修計画」を早期に策定されたい。その上に立って、必要な財源の確保に努められたい。 リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の関連道路整備については、国や県からの交付金を積極的に確保し早期実現に努められたい。 公共交通の充実は、「コンパクトな都市づくり」の重要施策であり、市民の利用度が高まるよう努められたい。 	-	-	-	-
活気ある街づくりの推進	産建		商業・市街地活性化課	-	-	<ul style="list-style-type: none"> りんご並木の活性化だけでなく中心市街地全体を対象として、人や物が集まり活気に満ちあふれるような街づくりが必要と考える。個々の課題認識や方向性は概ね正しい。 第2期飯田市中心市街地活性化基本計画の中で特に未成熟であった事業については、具体化に向けて検討されたい。 中心市街地は、南信州定住自立圏の中心核としての顔と機能を持つため、整備においては民間活力やデザインコンペなど外部有識者からの意見も取り入れ、緑化を進め散策の楽しめる環境文化都市に相応しい街づくりを推進されたい。 	-	-	-	-